

登録コード	J5190300	開講年度	2026		
授業科目	地方財政				担当教員 大野 太郎
英文授業名	Local Public Finance				副担当
単位数	2	講義期間	後期(随時)	曜日・時限	集中・不定期
講義室		授業区分	e-Learning	遠隔授業科目	該当
信大コンピテンシー	非該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】
	経法20加・応用経済 【2020年度以降加付対象】専門領域での基礎知識として、経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして、経済理論の応用分野として、金融、公共政策、法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで、専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。 専門領域での基礎知識として、また問題解決に実践する力として、地方財政の基礎的知識と考え方を習得し、政策の意義や課題について論理的に考察する力を身につける。				
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	・日本の地方財政制度をテーマに、その経済学的な分析について解説する。まず家計・企業などの自由な取引に基づく経済社会の中で「政府の果たすべき役割は何か」（財政の3機能）、さらに「国と地方自治体の役割分担をどのように行うべきか」（機能配分論）に関して基本的な考え方を整理する。その後、歳出面では地方自治体が担うべき政策、歳入面では地方自治体に賦与されるべき税源や、目的に応じた補助金のあり方などについて扱う。なお、この授業はすべてe-Learningで行うオンデマンド授業であり、動画はeALPSに掲載する。				
(5)授業計画	第1回 イントロダクション 第2回 ミクロ経済学の復習 第3回 国と地方の役割分担 第4回 日本の地方財政制度 1：歳入面 第5回 日本の地方財政制度 2：歳出面 第6回 地方公共財理論 1：分権化定理 第7回 地方公共財理論 2：地域間外部効果 第8回 地方税 1：日本の地方税制度 第9回 地方税 2：望ましい地方税とは 第10回 政府間財政移転 1：日本の財政移転制度 第11回 政府間財政移転 2：財政移転の機能 第12回 政府間財政移転 3：財政移転の効果 第13回 地方債 1：日本の地方債制度 第14回 地方債 2：地方債制度の効果 第15回 まとめと授業アンケート 期末試験				
(6)成績評価の方法	・小テスト（40%）及び期末試験（60%）の結果によって評価する。小テストはeALPS上で実施し、期末試験は教室内で実施する。 ・小テストは第5週、第9週、第13週頃に計3回実施する予定である。ただし、小テストの実施時期や受講方法に関する詳細は事前にeALPSで案内するため、毎週必ずeALPSを確認すること。				
(7)成績評価の基準	・授業で解説した基本的な内容を説明できれば「水準にある」、授業で解説した高度な内容を説明できれば「やや上にある」、これらの経済理論も用いて説明できれば「かなり上にある」、地方財政制度について課題を整理し自分なりの一定の解決策まで考えられる程度にまで至れば「卓越している」。				
(8)事前事後学習の内容	・復習を中心に講義内容の定着を図ってほしい。				
(9)履修上の注意	・地方財政は経済学の応用分野に位置する。そのため、経済学の基幹科目（ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学など）や財政学、公共経済学を履修済み、もしくは履修することが望ましい。 ・授業に関連する新聞等の記事には目を通すように心がけてほしい。 ・動画をまとめて視聴するのは大変です。毎週、継続的に視聴することをお勧めします。 ・小テストなど、授業に関する情報はeALPSに掲載しますので、毎週必ずeALPSを確認すること。				
(10)質問、相談への対応	・e-Learning授業のため、質問はメールで受け付けます。また、質問・相談について研究室への訪問でも対応する。研究室への訪問の際は事前にメールでアポイントメントをとること。 ・メールアドレス： taro_ohno@shinshu-u.ac.jp				
【教科書】	授業において指示する。				
【参考書】	佐藤主光『地方財政論入門』、新世社、2009年				